



全国図書館大会報告

2007年10月29日、30日に第93回全国図書館大会東京大会が開催されました。第1日目には、日比谷公会堂において井上ひさし氏の「文化の力 図書館の力」と題する記念講演が行なわれ、第2日目には、渋谷区代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて分科会が行なわれました。

資料保存や指定管理者制度の問題から著作権に関する動向まで、多彩な内容を盛り込んだ計22の分科会は、どれも昨今の図書館を取り巻く状況を如実に反映したものであり興味深いものでしたが、今回は第5分科会「専門図書館の再生」についてご報告いたします。

インターネット社会の到来に伴うデジタルライブラリー構想をはじめとして、図書館界にも技術革新の波は押し寄せ、時代の要請にこたえて変化することが求められています。また、インターネットの爆発的な普及は活字離れという現象を生み出し、今日の図書館は「冬の時代」を迎えているとも言われています。

第5分科会では、これらの現状を踏まえ、多様化するメディアを積極的に活用すると共に、図書館の移転や縮小といった変

化を機に、新しい図書館としての再生を図った4つの専門図書館の事例紹介が行なわれました。

①ジェットロビジネスライブラリーでの、資料の充実に併せて行なっている積極的な広報活動による、潜在来館者を発掘する試み。②石川文化事業財団お茶の水図書館での、女性雑誌に特化した資料収集方針と、研究部門を立ち上げての情報発信。③人手と資金の不足という物理的制約の中で、ブログの開設、英語版ホームページの作成などによって来館者数を伸ばしている大阪社会運動資料センター・大阪府労働情報総合プラザの事例。④長年にわたって収集・蓄積してきた言語研究に関する資料を電子化し、図書館の一般公開を本格化した国立国語研究所の取り組みなど、どの図書館の事例も示唆に富んだものでした。

分科会全体を通じては、インターネットを活用した広報活動がどの図書館においても大きな役割を果たしていることから、あらためて、情報社会の中での図書館のあり方について考える1日となりました。

東弁・二弁合同図書館事務局 鳥海 晶子

ご利用下さい！DVD「わかりやすい法情報の調べ方」

2007年10月12日、法政大学ポアソナードタワーにおいて行なわれた法律図書館連絡会第50回総会に参加しました。法律図書館連絡会（法図連）は当館の他、国立国会図書館や法務図書館、最高裁判所図書館、全国の法務学部大学図書館等が加盟している組織で、当日は40名を超える参加者がありました。

その中で法図連ビデオ制作委員会が作成したDVD※「わかりやすい法情報の調べ方」に関する報告がありましたのでこれについてご紹介したいと思います。

このDVDは、1997年に制作したビデオ「法令文献の調べ方—判例編（法図連ビデオ）」を全面改訂したものです。ビデオの発行からこの10年間で情報通信技術（IT）の発展はめざましく、それにより法情報へのアプローチ方法が大きく変化しています。そこで、今回の改訂版はこれまでの法律の専門書や法情報のCD-ROMによるリサーチ方法に加え、時代に即したDVDやインターネット上の専用データベースを含めた法情報のリサーチ方法を紹介したものとなっています。

その内容は、学生の自宅周辺で持ち上がった鉄道建設について、行政の認可が下りた事業に対し建設を中止させることができるか、また鉄道整備事業の認可について学生は取消訴訟

の原告適格を有するのかということの一つの事件を題材とし、司書や先生にアドバイスを受けながら、法令や判例、法律文献等の法情報の探し方を学んでいくという、ストーリー仕立ての構成となっています。

当職も視聴しましたが、法情報へのアプローチ方法をビジュアルを通じて体系的に整理することができ、また付録冊子の利用ガイドを視聴と併せて活用することで相乗効果が期待できるため法律事務所へ入所したばかりの職員の方を始め、多くの方々にとって法情報のリサーチ方法の基本を理解するのに最適なDVDであると考えています。

そのため、図書館では多くの方々に視聴していただく機会を設けるべく、貸出用の他に館内視聴用を常備することに致しました。試しに事務所で視聴したり、空き時間に図書館で視聴したりとお気軽にご利用いただきたいと考えておりますので、貸出、視聴ご希望の際はお気軽にカウンター職員へお声がけ下さい。

※「わかりやすい法情報の調べ方」
法律図書館連絡会ビデオ制作委員会 編
商事法務 発行 価格4,700円（税別）43分

東弁・二弁合同図書館事務局 川村 友寛